

## 6月11日・12日の輸送障害について

2024年6月14日  
西日本旅客鉄道株式会社

6月11日から12日にかけて、JR京都線にて大規模な輸送障害を連続して発生させ、ご利用のお客様に多大なご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。現時点で判明している原因と対策の方向性について、お知らせします。引き続き、再発防止に努めてまいります。

### 1. JR京都線茨木～千里丘駅間 車両トラブル

- (1) 発生日時 6月11日（火）16時19分頃
- (2) 場所 JR京都線 茨木～千里丘駅間
- (3) 列車名 上り特急電車サンダーバード33号 9両編成 乗客数：約160人
- (4) 概況
  - ・6月11日（火）16時19分頃、茨木～千里丘駅を走行中の当該電車から防護無線（周囲の列車を緊急停止させる信号）が発報されたため、当該電車の車両の確認を行った結果、車両挙動監視装置（揺れを検知した際に周囲の列車を緊急停止させる装置）が動作したことが判明した。
  - ・そのため、琵琶湖線・JR京都線・JR神戸線・山陽線・赤穂線では米原～播州赤穂駅間、湖西線では近江塩津～山科駅間、学研都市線・JR東西線・JR宝塚線では木津～新三田駅間、おおさか東線では大阪～久宝寺駅間で順次運転を見合わせていたが、車両と線路の確認が完了し、17時30分に運転を再開した。
- (5) 原因  
車両挙動監視装置に繋がる配線のコネクタ部の不具合のため
- (6) 対策の方向性 本装置を搭載する全車両について、点検を実施（本日から10日間を目途）

※車両挙動監視装置が動作したことを発端にダイヤ乱れが発生した中で、列車ダイヤを変更する装置（運転整理端末）に不具合が発生し、ダイヤの変更に時間を要したことで列車遅延が深夜に及びました。今後速やかに改修を実施いたします。

### 2. JR京都線向日町駅構内 信号トラブル

- (1) 発生日時 6月12日（水）0時52分頃
  - (2) 場所 JR京都線 向日町（むこうまち）駅構内
  - (3) 概況
    - ・6月12日（水）0時52分頃、大阪指令所の指令員は、モニター画面にて向日町駅の信号が赤のまま変わらないことを認めた。
    - ・このため、琵琶湖線・JR京都線では野洲～大阪駅間で運転を見合わせていたが、復旧作業が完了し、3時20分に駅間停車の列車も含め全ての列車が運転を再開した。
- ※桂川～長岡京駅間で駅間停車列車が3本発生

(4) 原因

工事の過程における誤り（停電回復時に信号装置を自動的に回復させる機能が実装されていなかったため）

(5) 対策の方向性

当日中に改修を実施するとともに、設計段階で必要な機能を組み込むことが漏れないよう仕組みの見直しを実施

**3. JR 京都線茨木駅構内 信号の確認**

(1) 発生日時 6月12日（水）6時42分頃

(2) 場所 JR 京都線 茨木駅構内

(3) 列車名 下り貨物列車 編成：26両（機関車除く）

(4) 概況

- ・6月12日（水）6時42分頃、大阪指令所の指令員は、茨木駅の下り1番線に貨物列車を停車させた際、茨木駅下り外側線（主に貨物・特急電車が走行する線路）の信号機が赤のまま変わらないことを認めた。
  - ・そのため、JR 京都線では、下り内側線（主に普通・快速電車が走行する線路）に運転線路を変更し運転していたが、復旧作業が完了し、9時42分から通常の線路での運転を再開した。
- ※摂津富田～JR 総持寺駅間に停車中の特急はるか3号にご乗車のお客様に降車の上、最寄りの踏切から退出し摂津富田駅まで徒歩で移動していただいた。

(5) 原因

担当指令員が有効長をオーバーした貨物列車を茨木駅1番線に進入させ、後続列車の進路が構成できなくなったため

(6) 対策の方向性

貨物列車の有効長および着発線の変更の取扱いについて、指令員に対して周知教育を実施

以上